

2024年度 目白大学 学位授与式

答 辞

柔らかな日差しが心地よく、春の訪れを感じる季節となりました。本日は私たち卒業生のためにこのような素晴らしい式典を挙げて頂きましたこと、卒業生を代表して心より御礼申し上げます。

また、先程の学長からの告辞、理事長並びにご来賓の方のご祝辞、在学生代表の方からの温かい励ましの言葉を頂戴し、身の引き締まる思いです。

目白大学で過ごした四年間を振り返ると忘れがたい瞬間で溢れています。

入学当初、私たちはコロナウイルスの影響により授業の大半が遠隔授業となり、思い描いていた大学生活を送ることが難しい現状にありました。二年次になると対面授業が再開され、私たちは大学生活の第二のスタートをきることとなりました。キャンパスでの生活に戸惑いながらも、友人や先生と直接コミュニケーションがとれたことは大きな喜びでした。専門性が高まる学びへの期待、友人と切磋琢磨して過ごした時間はかけがえのないものであり、私たちの大学生活に更なる彩りが生まれていきました。

三年次になると本格的にゼミ活動が始まりました。ゼミでおこなった雑誌制作では学外での活動や交流に積極的に挑み、その経験は私たちを大きく成長させました。私たちが伸び伸びと勉学に励むことができたのは、学生の挑戦を力強くサポートしてくださる先生方、職員の方々のおかげであると考えております。そして、何よりも仲間の存在は偉大であり、仲間との出会いによって見ることでできた景色がたくさんあります。決して一人ではたどり着くことのできない絶景を共に追い求めた時間は思い出深いものです。

四年次では大学生活の集大成となる卒業研究に取り組み、同時に自分の将来と向き合いました。壁にぶつかり、下した決断に思い悩み、自問自答を繰り返す日々でしたが、支えてくださった周りの方々のおかげで最後まで走り続けることができました。

私たちはこの四年間で、たくさんのことを学び、経験してきました。それらは言葉では表すことのできない財産となっています。もちろん、輝かしい思い出ばかりではありません。時には自分を見失い、挫折という壁に立ち向かうこともありました。そんな時、優しく手を差し伸べてくれる友人や仲間、愛を持って向きあってくれる家族や先生方の存在が私たちを包み込み、前を向かせてくれました。

これからは、今まで以上に地に足をつけて、自分の力で力強く歩み始めなければなりません。大学で得た学びや経験を活かし、胸を張って自分らしく、新たな世界へゆっくりでも、確実に足を踏み出していきたいと思います。

最後になりますが、私たちがこうして晴れて卒業できますのは、ご列席の太原学長をはじめ、先生方、職員の皆様、ご来賓の皆様、そしていつも支えてくれた仲間の励ましと力添えがあったからにほかなりません。また誰よりも私たちを信じ、背中を押し続けてくれた家族のおかげでもあります。

みなさまとの出会いに心から感謝し、御礼を申し上げると共に目白大学のより一層のご発展を願いまして、答辞とさせていただきます。

2025年3月27日

2025年度卒業生代表

目白大学メディア学部

メディア学科 篠原麗